

8 . 南風原町 提出資料

1. 現状で取り組んでいる事

- ① 民生部こども課内に相談員配置(社会福祉士2人/職員1、嘱託1)
 - 1) 0歳児～高校生まで、子どもに関する事に対応
 - 2) 必要に応じ「町要保護児童等対策地域協議会」で対応
 - 3) 積極的に学校、町社協や関係機関等との連携
(警察、民生委員、学童クラブ、保育園など)
- ② 「小1の壁」対策として生活困窮世帯に対する学童クラブ保育料の補助(上限5千円/一括交付金活用) ← 予算等は2ページ右下参照

2. 取り組めていない事(課題)/3ページ【資料②】参照

- ① 中卒者及び高校中退者への対応
- ② ひきこもり対策
- ③ 少年非行防止に向けた「小1の壁」の完全な対策

- 1 -

3. 課題が引き起こす問題

- ① 幼少期からの非行(不登校、学力低下)
 - ② 少年非行の地域連鎖
 - ③ 非行少年の低い更生率
 - ④ 生活困窮の連鎖
- ★保護者の背景/① 高い離婚率、② 低い所得

4. 課題解決に向けて

- ① 「小1の壁」対象児童の居場所(学童クラブ)の確保
- ② 居場所(学童クラブ)入所に関し、広域的な生活困窮世帯への保育料補助
- ③ 中卒、高校中退者への学習、就労支援

●南風原町での「学童クラブ保育料補助」事業費状況/平成27年度より実施
・ひとり親世帯で非課税世帯に対し、学童クラブ保育料5千円/月を補助
・平成27年度の該当者/46児童
・平成28年度予算要求額/46児童×5千円×12月=2,760,000円

- 2 -

		「小1の壁」 小1～小3を範囲	不登校、引きこもり	中卒、高校中退		
①こども課で対応 ②保育園等で対応 ③民生委員・児童委員で対応 ④その他、さまざまな対応が行われている。	①教育委員会で対応	①教育委員会で対応 ②こども課で対応 ③学童クラブで対応 ④その他、さまざまな対応が行われている。	①教育委員会で対応 ②こども課で対応 ③その他、さまざまな対応が行われている	*この段階で情報量が極端に少なくなり、対応が不十分		
<input type="checkbox"/> 児童館(幼児クラブ等の支援)		<input type="checkbox"/> こども課で、放課後居場所づくりとして4つの児童館で対応		<input type="checkbox"/> 児童館		
保育園	幼稚園	小学校	中学校	高校	一般	